

## 平成 30 年度 精神保健福祉部会 記録

平成 30 年 8 月 17 日(金)  
午前 9 時～10 時 00 分まで  
リハセンター 2F、AV 会議室

進行:遠藤部会長

- ・ 進行表の確認

### (1) 情報提供・PR について

- ・ 委員より 「ピアサポーターへの講師依頼など、県を通さずに直接本人たちに依頼ができないか」という提案有。  
⇒ピアサポーターより、「仲介役は欲しい。直接依頼されると断りにくい。仕事の報告書を提出できるのも良い。」と返答。ピアサポーター関連のやりとりの簡易化は今のところ難しい。
- ・ ある就労移行支援事業所の人と話をした。就労に関して、利用者さんのスキルアップを図るだけでなく、雇用側の受け入れのハードルを調整する取り組みが必要。
- ・ 今夏は高齢者の熱中症事例がかなり多かった。包括や民生委員と協働するケースが多い。
- ・ 障害者地域生活支援センターほっとより「9 月からピアサポーターに相談員をしてもらおう。月に 1 回 2 時間を予定している。」との報告あり。
- ・ グループホーム事業者より「グループホーム入居の際のききとりなど、受け入れ態勢を再検討している」

### (2) 30 年度 部会の取組みについて

- ・ GSV や事例検討を通じて地域の課題を集約する。  
前回 7 月 2 日(月)、場所:高松市社協 参加者:11 名  
(報告)前向きになれた。訪問看護等のサービスを検討したい。その人の強みを本当に理解しているのかの自問自答につながった。
- ・ 次回 8 月 22 日(水)14 時 30 分～15 時 30 分、竜雲メンタルクリニックにて  
内容:基幹での新しいケースについて
- ・ ピアサポーターとの共同企画の研修について(支援者の連携や理解を深める研修)
- ・ シンポジウムを昨年のような形でしたらいいのでは？
- ・ ピアサポーターの居場所の人たちから「昨年のようなものはしないのですか？」と言われている。
- ・ シンポジウムに「ピアサポーターとは？」を入れてはどうか？
- ・ ピアサポーターからも「支援者に言いたいこと」はあると思う。
- ・ 医療と福祉の交流プレゼンを事業所の方から「しないのですか？」という意見あり。

(2) 精神障がい者スーパーバイザー派遣事業について

- ・ 中讃東圏域の自立支援協議会からの依頼。高松圏域の「退院促進の取組み」等の勉強がしたい。
- ・ 綾川町方面で障害福祉サービスを取組み始めた事業所があり、「精神の方の悩み」がある。派遣事業を利用すればモチベーションが上がるだろう。
- ・ ヘルパーは、精神障がい者支援を行うにあたり、常に困り感がある。